

事務事業名	保育所運営事業	担当部	こども福祉部	担当課	保育課	担当係	保育係
-------	---------	-----	--------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和22年、児童福祉法の制定により、保育に欠ける児童の保育は市町村の義務として位置づけられた。昭和27年に佐野市第一保育所(現伊勢山保育園)が開設されたことにより佐野市での事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する目的で、平成24年度に子ども・子育て関連3法が公布され、平成27年度から施行となる子ども・子育て支援新制度に向けて、平成25年度から準備が進められてきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会において入所保留児童についての対応や施設の老朽化による建替え、病児・病後児保育など特別保育事業実施について質問が出されている。市民からは、低年齢児(0~2歳児)について、保育所に入所できないことへの意見が多く寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
やり方改善(成果向上の見直し)	保育所整備運営計画を進めながら、0歳児、1歳児の入所枠拡大などを図る。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	子育てをする保護者の負担感や不安感を軽減し、仕事と子育ての両立支援を目的としているため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	保育に欠ける児童の保育は児童福祉法上の市町村の義務であり、公立保育所は市で運営する義務がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は仕事と子育ての両立の支援を必要としている市民の要望に応えることを目的としているため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	保育所の整備計画を進める中で、入所希望の多い低年齢児童の枠を増やせる可能性がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	人件費の削減余地がある	理由・改善案	保育所整備計画を進める中で、統廃合されることにより施設数が減少した場合、削減の可能性がある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	入所児童の保護者から前年の所得税及び年齢に基づいて保育料を徴収していることから、適正である。なお、平成27年度から保育料の算定根拠が所得税から市民税に変わることから、新たな保育料条例を制定したところである。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	公立保育所がすべて廃止になった場合。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
やり方改善(コストの見直し)(効率性⑥の結果) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①入所児童数の少ない保育所の統廃合による効率的な保育所運営。 ②市民ニーズに対応する特別保育事業等の拡大	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	①	②	維持		×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	①	②																	
	維持		×																	
	低下	×	×																	